

LET'S PLAY

NEKO MOOK 174

レッツ・プレイ・フォルクスワーゲン40
空冷VWライフスタイル・マガジン



vol. 40

THE MAGAZINE FOR
AIR COOLED VW
ENTHUSIASTS
**2012
SPRING
SPECIAL ISSUE**

Porsche Type64 1938 VW38

24年目を迎えた趣味の絆
“VWクラブ”OBSESSIONの野郎たち

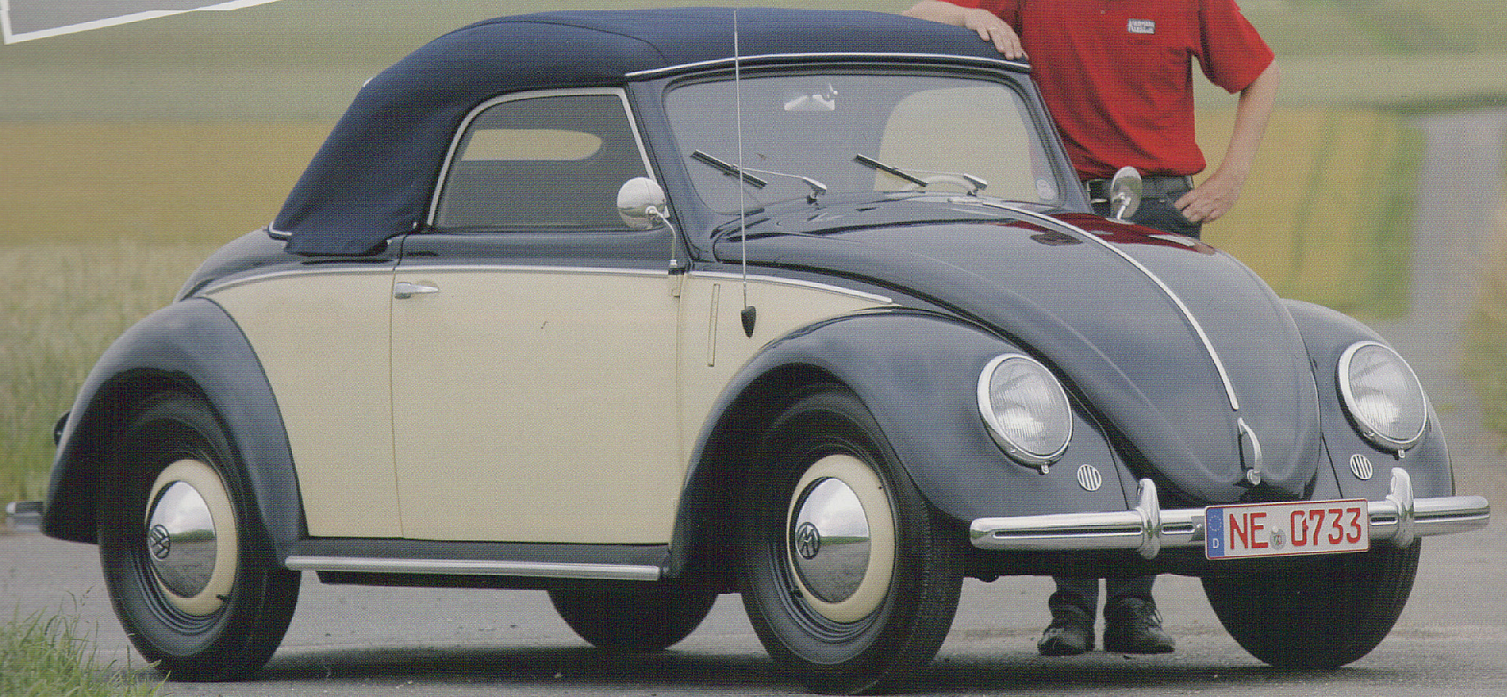
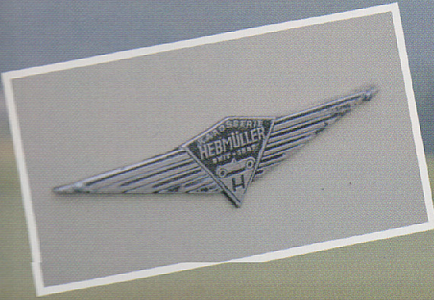
マテリアルにこだわりカスタム
HOW TO CUSTOM INTERIOR

VWのハンドリングを取り戻す



ナンバーにこだわる理由

We ♥ Single Licence



HEBMÜLLER 1950



GREAT GERMANY



長い間ベールに包まれていたHebが Bad Cambergでその姿を現す

Photo & Text/ Shin-WATANABE (渡辺慎介)
Special thanks to Claus Missing karmann1952.de

1 948～1953年(その大部分が49～50年)に生産台数がわずか700台弱。トップを畳むとボディに綺麗に収まる美しい2シーターボディ。VWタイプ1モデルの中でも異彩を放つモデル、ヘブミュラー。2012年のバッド・キャンバーグでは普段VWイベントでは見かけないヘブが会場を訪れ話題となった。それがこちらに登場願った1950年式タイプ14Aヘブミュラーだ。ボディカラーもヘブでは珍しい濃紺とアイボリーの2トーン。まるでレストアが完了したばかりのコンディションであるが、実は22年前に仕上げられて以来、ほとんど稼働することなく眠っ

ていた個体だそうだ。レストア完了後22年間の走行距離はわずかに2800km。

「レストアで使用されたパーツは全て純正NOSなんだ。だからレストアから20年以上経っても色褪せることがないんだね」と、ドイツ、デュッセルドルフでKarmannカブリオレとヘブミュラーレジストリーを運営しているオーナーのClaus Missing氏。1952年式カルマン・カブリオも所有するClaus氏はバッド・キャンバーグ開催直前に運命的な出会いを果たし、スイスの全オーナーからヘブを譲り受けた。こうしてClaus氏は今ではスプリットウィンドウ世代のカブリオレ2モデルを所有することになってしまった。



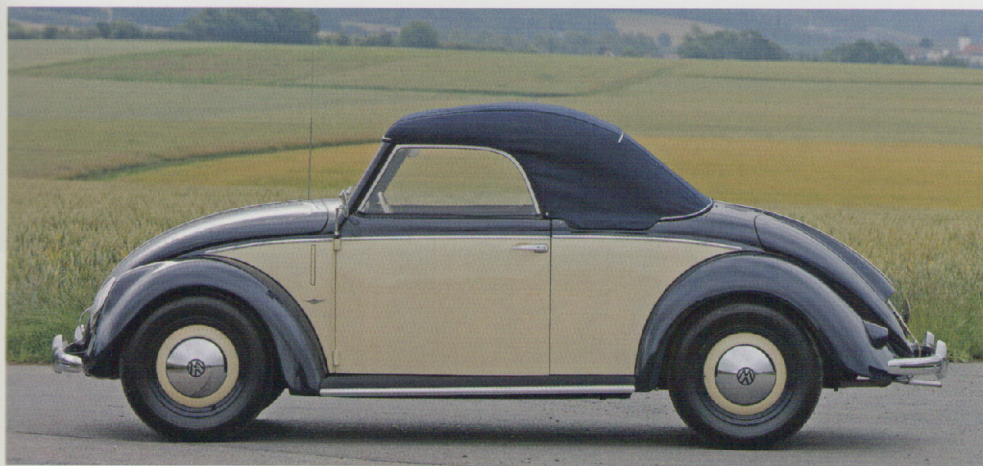
Claus Missing氏はPetriステアリング、トリップゲージ付きスピードメーター、シフターアッシュトレイなどのアクセサリを追加。ラジオはBeckerのMonzaだ。



現車にはウルトラレアなロードサイド・アシスタンス用スペアパーツキットなるものが備わっていた。ベアリングやオイルシール、デスピキャップまで備わるかなり本格的なもの。



まるで新品のようなコンディションのスペアホイールHazetツールキットも備わる。実用性も兼ねる是非とも備えておきたいアクセサリ。



ホイールベースはセダン、4シーターカブリオレと共通ながら、デッキリッドの意匠変更でここまで変わるヘブ。もっとも美しいタイプ1の称号が与えられるのも無理はない。



ヘブのエアインテークはデッキリッド上部のスリットが設けられるが、年式によってモールの処理が異なるなど、細かな仕様の違いを見つけることができる。



レストレーションに際しては欠品していたパーツは全て純正のNOSが用いられたそうだ。中にはヘブ専用パーツもあり、レストアの難易度は非常に高い。

エンジンはストックの1131ccの25馬力。エアクリーナーは低くクリアランスの限られたヘブ用のデッキリッドのための専用デザインだ。

